

I 学校経営の基盤

1 本校の沿革、校区の概要

昭和60年	4月1日	菊陽町立武蔵ヶ丘小学校の児童数の増加により分離。 菊陽町立武蔵ヶ丘北小学校設立。
	4月5日	校舎落成式並びに開校式挙行。
	4月9日	第1回入学式挙行。新入生男子50名、女子36名、計86名。
昭和61年	3月	校歌完成。作詩堀川、作曲藤枝両氏を招き校内音楽会を開催。
昭和62年	12月	屋外体育倉庫及び便所の工事完成。
昭和63年	6月	本校PTA県PTA連合会より功績に対する表彰を受ける。
平成3年	2月	菊池郡市地教委連絡協議会委嘱による国語科研究発表会を開催。
平成5年	9月	飼育小屋完成。(山羊、うさぎ、にわとり)
平成6年	6月	県立教育センター情報活用に関する研究事業に係る研究協力校委嘱。 第27回熊日学生音楽コンクールにて、本校合唱部優秀賞受賞。 本校10周年記念式典を開催する。
平成7年	7月	平成7・8年度熊本県PTA連合会親子20分読書運動の研究委嘱。
平成9年	2月	熊本県小学校特別活動研究大会菊池大会を本校で開催。
平成10年	4月	県立教育センター科学展事業に係る研究協力校として委嘱。
平成12年	4月	平成12・13年度菊池郡市地教委連絡協議会委嘱による「総合的な学習の時間」の研究指定を受ける。
	10月	パソコン教室設置、インターネット接続。
平成13年	4月	県立教育センター科学展事業に係る研究協力校として委嘱を受ける。
平成14年	2月	平成12・13年度菊池郡市地教委連絡協議会指定「総合的な学習の時間『夢ひろタイム』」研究発表会を開催。
平成15年	9月	本校南校舎(教室棟)壁面塗装工事完了。
平成16年	9月	本校管理棟壁面塗装工事、校舎屋上全面防水工事完了。 運動場と校舎の間に防球ネット設置。
平成18年	4月	平成18年度菊陽町学力充実研究指定校として委嘱を受ける。
	11月	学力充実研究発表会を開催。
平成19年	11月	町人権教育全員研修会を開催。
平成20年	4月	「人権の花運動」推進校として委嘱を受ける。
	9月	職員室東側に駐車場設置。
	11月	「人権の花イベント」を開催。種をつけた風船を飛ばす。
平成22年	2月	地デジ対応テレビ15台設置。
	4月	職員北西側に通用口設置。警備保障カードリーダー移設。
	12月	パソコン室及び職員室パソコン新規導入。
平成24年	3月	特別支援教室及びリソースルーム完成(旧多目的ルーム)。
	7月	九州北部豪雨。緊急合同通学路点検(8月)。
平成25年	3月	特別支援教室増設。
	4月	平成25・26年度熊本県教育委員会指定「歯・口の健康づくり研究推進校」、社団法人日本学校歯科医師会「平成25・26年度『生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業』」推進校、熊本県歯科医師会「平成25・26年度『生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり調査研究事業』」指定校として委嘱を受ける。
平成26年	11月	「歯・口の健康づくり研究推進校」研究発表会を開催。
平成27年	2月	学校創立30周年式典および記念行事を挙行。
	8月	体育館耐震工事。
	12月	パソコン室及び職員室パソコン等情報機器更改。
平成28年	2月	校舎南棟屋根防水改修工事。
	4月	熊本地震発生により4月18日から25日まで臨時休業
平成29年	3月	熊本地震校舎他災害復旧工事終了
平成30年	3月	新校舎、スロープ(少人数教室、図工室、多目的室)完成
平成31年	4月	多目的トイレ、シャワールーム完成
令和元年	8月	校舎床貼り替え
令和2年	3月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため3月2日から15日まで臨時休業。3月16日から24日まで臨時休業延長。
令和2年	4月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため4月14日午後から5月6日まで臨時休業。
令和2年	5月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月7日から31日まで臨時休業延長。
令和3年	3月	光回線、アクセスポイント設置。パソコン室改修工事終了。
令和3年	11月	令和元・2年度 菊陽町学力充実研究指定校、学力充実研究発表会を開催
令和4年	7月	運動場防球ネット整備工事
令和4年	11月	菊陽町全員研修会人権教育授業
令和5年	7月	武蔵ヶ丘北小学校校舎新築工事開始

○ 校区の概要

本校区は、菊陽町の西端に位置し、都市化開発が急速に進む新興住宅街を有する。校区には、東から武蔵ヶ丘6・7・8町内、八久保、南八久保、にじの森、花立、南花立、向陽台の地区があり、東西に約3kmにわたり帯状に連なっている。

校区の東隣に菊陽西小学校の新山地区、西隣に熊本市立麻生田小学校区、南には武蔵ヶ丘小学校区、さらにその南には熊本市立武蔵小学校区の商店街、スーパー、銀行、郵便局等々が並ぶ市街地があり、北側は合志市と隣接し、大規模なすずかけ台、泉ヶ丘の住宅地が広がっている。

旧花立分校時代には純農村地帯として雑木林と畑地中心ののどかな環境の地域であったが、畑や林が宅地となり農家が減少している。

校区は新興住宅街ということもあり、他地域からの転居者が多く住民の職種も様々である。さらに、花立地区の旧RKKグラウンド跡地の大規模住宅地の造成工事により新たに「にじの森」が加わり、学校周辺にも大型マンションの建設が進むなど、今後も更に児童の増加が見込まれる。

保護者の教育に対する関心は極めて高く、PTA活動が活発に行われる等、学校に対して協力的であるが、要望も多様化しつつある。

近年、「光の森」地区で大規模な商業開発や住宅化が進み、校区及びその周辺の様子も様変わりしている。特に交通量の増加等により交通事情は厳しく、朝夕の子どもたちの登下校時の安全確保は本校の大きな課題の一つでもある。

2 校区図

